

# ストレスマネジメント研究

— Stress Management Research —

Vol.2 No.1

|   |       |
|---|-------|
| <b>巻頭言</b>  |       |
| 早稲田大学人間科学部健康福祉科学科 竹中晃二<br>Proactiveなアプローチの必要性   | 1     |
| <b>特集：日本ストレスマネジメント学会第2回大会</b>   |       |
| <b>基調講演</b>   |       |
| 服部祥子<br>子どもを育む2つの視点<br>—森を見る目と木を見る目—  | 3-12  |
| <b>シンポジウム</b>   |       |
| 堤 俊彦<br>もう一つの教育<br>—ストレスマネジメントの視点から—  | 13-15 |
| 益田悦子<br>前向きにチャレンジする姿勢を育てる冒険教育プログラム  | 17-24 |
| 古角好美<br>問題解決能力をひきだす「スマップ学習」の開発と試み   | 25-29 |
| 宮原英昭<br>教職員に対するストレスマネジメント教育の浸透のためにどのような工夫を行うか   | 31-35 |
| 向笠章子・山下裕史朗・津田 彰<br>ADHDを疑わせる児童をどうやって学校生活に適応させていくか？<br>～ICFモデルを使っのスクールカウンセラーと担任と保護者との連携～ | 37-40 |
| 富永良喜・吉永弥生・安田孝司<br>心の教育とストレスマネジメント   | 41-45 |
| <b>一般論文</b>   |       |
| (原著)  |       |
| 田崎智佳子・山中 寛<br>リラクゼーション中の主体の活動が心理・生理的効果に及ぼす影響に関する研究                                      | 47-53 |
| 植田健太・境 泉洋・佐藤 寛・石川信一・中村 光・嶋田洋徳・坂野雄二<br>ひきこもりセルフヘルプグループにおける親のストレス反応低減効果の検討                | 55-60 |
| 百々尚美・山田富美雄<br>地域におけるストレスマネジメント教育プログラム   | 61-64 |
| (実践報告)  |       |
| 坪田 泉・百々尚美<br>3年計画での包括的なストレスマネジメント教育の実践報告<br>—初年度を終えて—                                   | 65-70 |
| (評論)  |       |
| 野村信威・山田富美雄<br>高齢者に対する回想法の効果評価研究の展望<br>Evidence Based Medicine (実証に基づく医療) の観点から          | 71-78 |
| 増本康平・山田富美雄<br>脳疾患患者とその介護者の精神的健康：これまでの研究と今後の展望   | 79-86 |
| 会務<br>編集後記  | 93    |